

表 2

ZW3D Standard/Liteについて

ZW3D Standardは中国ZWSOFT社が開発するZW3D CAD/CAMシリーズの標準グレードモデルです。CATIA・NX・Creo・SOLIDWORKSなど主要CADトランスレータ・G3曲率連続高機能サーフェス・板金・点群処理・モーフィングなどの高度な機能を提供します。

ZW3D LiteはStandardから板金・高度なサーフェス機能・アニメーションなどを省きベーシックな設計機能を提供します。

ZW3Dには現在7つのグレードがあります。

	CAD(CAE)			CAE/ 配管配線 ※CADは Standard機能同等	CAM ※CADは Lite機能同等		CAD/CAM/CAE ※配管配線設計は除く
	Lite	標準版	Pro(金型設計)	アドバンス	2軸加工	3軸加工	プレミアム
<b>CAD 機能</b>							
IGES,Parasolid,STEP,DWG/DXF STL などの入出力	○	○	○	○	○	○	○
CATIA,NX,Creo/ProE,SOLIDWORKS Inventor,SolidEdge,ACISなどの入力	○	○	○	○	○	○	○
3Dプリント出力	○	○	○	○	○	○	○
2D,3Dスケッチとワイヤーフレーム	○	○	○	○	○	○	○
パラメトリックなソリッド・サーフェス ハイブリッドモデリング	○	○	○	○	○	○	○
高機能サーフェスモデリング	○	○	○	○	○	○	○
アセンブリデザイン	○	○	○	○	○	○	○
ジオメトリのヒーリング(自動修正)機能	○	○	○	○	○	○	○
ダイレクト編集(DE機能)	○	○	○	○	○	○	○
2次元図面連携機能	○	○	○	○	○	○	○
3次元注記(PMI)機能	○	○	○	○	○	○	○
標準パーツライブラリ	○	○	○	○	○	○	○
TracePartsオンラインパーツライブラリ	○	○	○	○	○	○	○
<b>専門機能モジュール</b>							
板金設計		○	○	○			○
溶接設計		○	○	○			○
リバースエンジニアリング(点群)		○	○	○			○
構造設計		○	○	○			○
基本線形解析(パート)		○	○	○			○
基本線形解析(パート&アセンブリ)				○			○
ZW3Dモーション				○			○
ハーネス設計				○			○
ECAD/MCADコラボレーション				○			○
配管設計				○			○
電極設計			○				○
金型設計			○				○
<b>CAM モジュール</b>							
ドリル					○	○	○
自動トレース					○	○	○
2軸旋削					○	○	○
2軸ミリング					○	○	○
ツールパスエディター					○	○	○
ソリッド検証					○	○	○
ZW3Dポストプロセッサ					○	○	○
NCプログラム(Gコード)出力					○	○	○
3軸QuickMill						○	○
SmoothFlow適応送り速度制御						○	○
<b>オプションモジュール</b> <small>※別途購入が必要</small>							
JTフォーマット入出力		△	△	△	△	△	△
CATIA,SOLIDWORKS,CREO 2D図面読み込み		△	△	△	△	△	△
PARTsolutions標準パーツライブラリ		△	△	△	△	△	△
KeyShotレンダリング		△	△	△	△	△	△
構造シミュレーション		△	△	△		△	△
Volum高速旋削加工							△
4軸・5軸ミリング					△	△	△

※○は機能制限あり △は有償オプションです

表 3

あとがき

ZW3Dはもともと米Varimetrix社の開発していたVX CAD/CAMをベースに開発されています。「OverDrive」という独自のモデリングカーネルを持ち点群・サーフェスに強いCADとして有名で日本の工作機メーカーも資本参加していました。

しかしリーマンショックの影響で2010年に破綻します。ここで買収に名乗りを上げたのが中国ZWSOFT社でした。当時ZWSOFT社は米オートデスクが開発するAUTOCADの互換CADで成長していました。互換CAD市場はその後成長し現在では世界で5社が2次元AUTOCADクローンを開発しています。

ZWSOFTは2次元CADに加え今後アジアでの成長が期待される3次元CADにも進出を考えていたところベストなタイミングでVX CAD/CAMの開発部隊・資産を手に入れました。ネーミングを「ZW3D」と変えWindows準拠の3D-CADとして開発を強化して行きます。

アジアでは欧米製3D-CADの違法コピーが蔓延していましたが、経済成長とともに正規版が増えて来ています。その受け皿となっているのがZW3Dです。またアジアと同じく製造基地として成長する東ヨーロッパでもZW3Dは急激に売上を伸ばしています。理由はその機能と価格のバランスが良いためです。

できるだけ多くの方にこのCADを使ってもらえるように、この書籍を書きました。ぜひバワフルで先進的なZW3Dを体験してください。

キュウプロダクツ 岡村 修一